

2月県議会

新型 コロナ 感染抑止へ検査・医療体制の拡充を

1店舗40万円(個人事業者最大100万円 法人事業者最大200万円)の直接支援を実現



2月県議会最終本会議で討論に立つ斉藤県議(3月25日)

2月定例県議会が2月17日から3月25日まで開かれ、高田一郎県議が本会議での一般質問に立ち、斉藤県議が高校再編問題の関連質問を行いました。予算特別委員会では千田美津子県議が総括質疑に立ち、3人の日本共産党県議団が県民から寄せられた切実な要求の実現に全力で取り組みました。

新型コロナウイルス対策

県は感染者が確認された場合、幅広く接触者の検査を実施し感染拡大を抑止していますが、無症状者からの感染が56%を占める実態や25都府県で社会的検査が実施されている状況を示し、無症状感染者を早期に発見するPCR検査の抜本的な拡充と医療機関・高齢者施設における定期的な検査の実施を求めました。変異ウイルスの遺伝子検査は、県環境保健センターに検体があるものについては全数検査を実施。

被災者の医療費等免除は非課税世帯に限定し継続 高校再編後期計画―県教委が年度内策定を見送り

被災者の医療費等の免除継続については、非課税世帯に限定して12月末まで実施されます。高齢化と生活苦の中で、支援が必要な被災者に免除措置が継続されることは重要な成果です。

東日本大震災津波からの復興の課題

被災者の医療費等の免除継続については、非課税世帯に限定して12月末まで実施されます。高齢化と生活苦の中で、支援が必要な被災者に免除措置が継続されることは重要な成果です。コロナ禍の下で災害公営住宅の集会所の利用は月1〜2回程度に留まっております。50戸を超える災害公営住宅の集会所に生活支援相談員を配置するよう求めました。

高校再編 地域住民の運動と 県議会の論戦が県教委を動かす

高校再編後期計画最終案が2月1日に示される中、統合計画が示された4地域の自治体・市議会・住民団体から計画の白紙撤回、高校の存続、地域住民説明会を求める意見書・要望書が県教委に提出され、3地域の団体連名の丁寧な説明と慎重な協議を求める請願が県議会に提出されました。本会議や予算特別委員会、2度にわたる文教委員会での論戦で計画の問題点を明らかにしま

皆さんと力を合わせて実現しました

- 収入が減少した事業者に1店舗当たり40万円(個人事業者最大100万円、法人事業者最大200万円)の直接補助(31.5億円余)
- 県民の県内旅行に1泊当たり最大5千円の補助と2千円分のクーポンを配布(36億円余)
- 新型コロナウイルス入院患者の診療や検査に携わる医療従事者危険手当支給事業費補助(1億円余)
- 今年度は保健師を15人増員し配置
- 被災者の医療費・介護利用料等の免除を非課税世帯に限定し12月まで継続(3.5億円余)
- 沿岸部と内陸部に「いわて被災者支援センター」を設置。盛岡市が南青山災害公営住宅に「被災者支援センター」を設置
- 県立高校再編計画後期計画の年度内策定を見送り、地域住民説明会を開催へ
- 今年度中にすべての県立高校へエアコンを整備(16.7億円)



統合計画のある地域の皆さんが「高校再編後期計画最終案の丁寧な説明と慎重な協議を求める請願」を提出。高田一郎県議らが紹介議員として同席(3月17日)

した。請願は不採択となりましたが、佐藤博県教育長は計画の年度内の策定を見送り、地域での住民説明会を開催すると表明。これは地域の住民運動と県議会の論戦が県教委を動かしたものであり、高く評価できるものであり、請願に反対した県議会議員の態度が問われるものとなりました。

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

2021年4月 No. 174

発行: 日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信のホームページ

<http://www.saito-shin.sakura.ne.jp/>

日本共産党 東北ブロック
オンライン 演説会
5月9日(日) 午後2時~
日本共産党東北ブロック事務所 YouTube チャンネルで配信
https://youtu.be/6QHG4WmFk
9人の小選挙区候補も出演します

弁士
書記局長・参院議員
小池晃

参議院議員
高橋ちと子

元仙台市長
ふなやま由美

元秋田県議
藤本友里

介護保険制度20年一保険あって介護なし

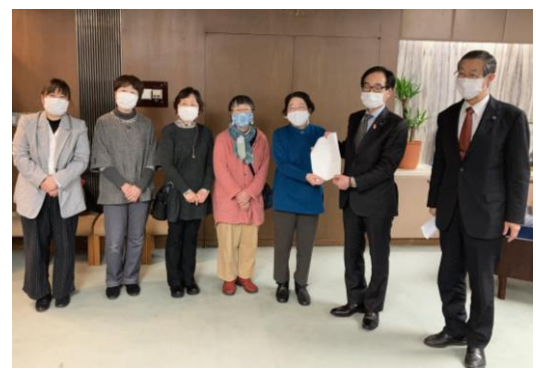
介護保険制度20年で、介護保険料は月2868円から5955円に2.07倍となりました。21年度からの第8期保険料の基準額は6033円となります(引き下げ6市町、据え置き9市町村、引き上げ9市町と広域行政組合)。一方で、特養ホーム入所基準が介護度3以上に引き上げられるとともに総合事業の導入で介護サービスの削減と食費負担増など「保険あって介護なし」の改悪の連続だったことを明らかにしました。特養ホーム待機者(20年4月1日現在)も在宅で1299人、早期入所必要が813人と減少していません。

介護施設における新型コロナ対策について、県は、施設内で患者が発生し職員等が不足する場合の派遣応援システムの構築や、大規模クラスター発生時における「いわて医療福祉施設等クラスター制御タスクフォース」の派遣の取り組みなどを示しました。

県版学力テストは科目を減らして継続へ

テストづけの教育の改善にとつても教員の負担の軽減にとつても岩手県版学力テストといふべき県学習定着度状況調査(小学校5年生・中学校2年生で実施の廃止を求めてきましたが、県教委は2科目に縮小して実施する方針を示しました。

「高齢者医療費2倍化ノー」 請願と意見書を採択



関根議長にジェンダー平等施策の強化を求める請願を提出する新日本婦人の会県本部の皆さん(3月2日)

さらに、新婦人岩手県本部が提出したジェンダー平等施策を強めることを求め

民党・公明党などが反対しました。「病床削減推進法案」強行による公立・公的病院の再編統合の見直し、医師と看護師の大幅増員などを求めています。

安全・安心の医療・介護の実現を求める請願・意見書、ジェンダー平等施策の強化を求める請願・意見書も採択

3月25日の最終本会議で、菅政権が「高齢者医療費2倍化法案」の早期成立を狙う中、岩手社保協などが提出した後期高齢者の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める請願と意見書を採択しました。自民党・公明党・いわて県民クラブなどが反対しました。意見書では、年収に対する窓口負担割合では後期高齢者の負担は現行の1割でも重いと指摘。高齢者に2割負担を強いれば日本医師会も懸念するように「受診を諦めさせることにつながる恐れがある」と述べています。

また、岩手医労連などが提出した安全・安心の医療・介護の実現を求める請願と意見書も採択。自民党・公明党などが反対しました。これまでもの粘り強



文教委員会で質疑に立つ齊藤県議(3月4日)

35人学級のさらなる拡充、教職員の長時間勤務の改善を求める

40年ぶりに40人学級から35人学級に義務教育標準法が改正されました。これまでの粘り強い国民的運動の成果ですが、5年かけて実施する計画で小学校全校学年での実施を求めるとともに、「中学校についても検討する」の国会答弁を踏まえ、中学校までの実施を強く求めました。

「岩手県教職員働き方改革プラン」(2021~2023)について、月平均100時間以上の職員は19年度154人、80~100時間未満が179人と示されましたが、人事委員会の調査では月1回でも100時間を超えた職員は668人・19%となっており、異常な長時間勤務の抜本的改善を求めました。

無料法律相談
~弁護士が相談に応じます~
・5月19日(水) 午後6時~
・6月16日(水) 午後6時~
予約電話番号: 651-5881

無料生活相談
毎週土曜日 10時~12時
場所: 齊藤信事務所

2月県議会で採択された主な請願・意見書に対する盛岡選挙区選出県議の態度 (賛成:○ 反対:×)

案件	齊藤 信 (日本共産党)	小西和子 (希望いわて)	軽石義則 (希望いわて)	吉田敬子 (新政会)	高橋但馬 (新政会)	米内紘正 (自民党)	高橋康介 (自民党)	小林正信 (公明党)	千葉絢子 (県民クラブ)	上原康樹 (無所属)
ジェンダー平等施策の強化を求める請願・意見書⇒採択	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
安全・安心の医療・介護の実現を求める請願・意見書⇒採択	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める請願・意見書⇒採択	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
高校再編後期計画(最終案)の丁寧な説明と慎重な協議を求める請願⇒不採択	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

齊藤信のパワフル活動日誌

1日 新春元日(宮城・神部伸也市議と西部後援会)
4日 県庁新春宣伝
5日 日本共産党新春のついで(遠藤拓也知事、木戸口英司・横澤高徳参議院議員参加)
10日 城東地区9条の会
13日 文教委員会
14日 地域医療特別委員会、県政調査会
15日 復興特別委員会(津田商店社長が講演)
22日 第13回野党共闘調整会議
24日 日本共産党盛岡地区党会議
30日 第14回野党共闘調整会議

2月
2日 地域医療特別委員会直内調査
5日 岩手県議会(遠藤知事、佐々木順一・立憲民主主義県連幹事長あいさつ)
8日 議連2月県議会議員説明会
9日 震災から10年(志位和夫委員長がオンラインで遠藤知事、戸羽太陸前高田市長と意見交換)
11日 建国記念日を考える集い
12日 盛岡市立病院院長と懇談 県政要望を聞く会
13日 社会民主主義フォーラム(結成式典あり)
14日 全県地方議員研修会、盛岡南高校の存続を願う会と直議(市議との懇談会)
17日 2月2日(例)県議会開会
18日 県商工会連合会、盛岡工業高校訪問
19日 第15回野党共闘調整会議 高校再編盛岡ブロック地域説明会
20日 一関調査一関商工会議所 一関工業高校 県立千厩病院
23日 「議会と自治体復興座談会」
24日 岩手県原水協定期総会
25日 県医労役員と懇談、田名場県央保健所長と懇談
27日 本会議代表質問(一般質問)
28日 大船渡県立高宮宮住宅自治会長と懇談、朝日新聞金石支局長と懇談

3月
3日 本会議(3日に高田一郎県議が一般質問、齊藤県議が関連質問、議案に対する質疑)
4日 文教委員会
5日 本会議補正予算可決
8日 本会議補正予算可決
11日 本会議補正予算可決(総括質疑)
19日 予算特別委員会(総括質疑、各局局長答)
22日 東日本大震災津波追悼式(陸前高田市)
24日 文教委員会
25日 復興特別委員会、第16回野党共闘調整会議
25日 本会議

4月
7日 総選挙準備オンライン全県決起集会
13日 文教委員会、議連、議案説明会、第17回野党共闘調整会議
14日 復興特別委員会、県政調査会
15日 臨時県議会
17日 野党合同街頭宣伝